

事 務 連 絡
令和 7 年 8 月 7 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の国内での発生状況について

国内での重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の報告数は、平成25年に報告されて以降増加し、近年では年間100例を超えています。これまでは、西日本を中心に報告されていたところですが、今般、北海道で初めてSFTSの症例が確認され、別添のとおり札幌市より公表しておりますので情報提供いたします。

北海道において症例が確認されたことから、今後は西日本に限らず他の地域においても患者が報告される可能性があります。また、SFTSに感染した場合には重症化することもあることから、発症後速やかに診断する必要があります。

SFTSは、ウイルスを保有するマダニに刺されることにより感染します。また、ウイルスに感染した犬や猫に咬まれたり、血液などの体液に直接触れたりすることで感染することも報告されています。

現在、マダニの活動が活発な時期であることから、貴職におかれましては、改めて、マダニに刺されないための予防措置について、下記参考の啓発ツール（ポスター等）の活用により住民に周知していただくようお願いいたします。

なお、同様の事務連絡を公益社団法人日本医師会及び公益社団法人日本獣医師会に発出しておりますことを申し添えます。

（参考1）感染症の特徴等について

■厚生労働省ホームページ

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou9/sfts_qa.html

■国立健康危機管理研究機構ホームページ

- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（詳細版）
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/sfts/010/index.html>
- ・ 感染症発生動向調査で届出られた SFTS 症例の概要（2025 年 4 月 30 日更新）
[https://id-](https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/sfts/020/20250523144135.html)
[info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/sfts/020/20250523144135.html](https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/sfts/020/20250523144135.html)

（参考 2）啓発ツールや予防等について

■厚生労働省ホームページ

- ・ ダニ媒介感染症啓発ツール
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

■国立健康危機管理研究機構ホームページ

- ・ マダニ対策、今できること
https://www.niid.jihs.go.jp/content2/research_department/ent/20250404183820.html

（参考 3）医療機関における対応について

■厚生労働省ホームページ

- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS） 診療の手引き 2024 年版
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001229138.pdf>

（参考 4）動物における対応について

■国立健康危機管理研究機構ホームページ

- ・ 病原体検出マニュアル(動物由来検体) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS) ウイルス 令和 6 年 10 月第 2 版
<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/manual/010/SFTS20240502.pdf>
- ・ 獣医療関係者の SFTS 発症動物対策について（2025 年バージョン）
https://www.niid.jihs.go.jp/content2/research_department/vet/animal-borne-2_2025-06-10.pdf